

諸橋大漢和の譌字

池田 証寿

1 諸橋大漢和コード

諸橋轍次博士著『大漢和辞典』(大修館書店刊行、以下、諸橋大漢和)を全部コード化してコンピュータで使えるようにすれば、文字コード問題は解決するという意見がある。諸橋大漢和は質量ともに極めて優れた漢和辞典であることはいままでもない。しかし、そのまま情報交換用の符号化文字集合として扱うには問題が多い。このことは、「諸橋轍次編『大漢和辞典』の音義未詳字⁽¹⁾」で考えたことがある。最近、譌字について調査する機会があったので、簡単にその結果を報告しておこう。

2 譌字とは何か

「譌字」は「カジ」と読む。最近、新版の出た『広辞苑第五版』(新村出博士編、岩波書店、1998年11月11日)や、新解さんで話題の『新明解国語辞典第四版』(山田忠雄氏主幹、三省堂、1997年3月31日)を見ても「譌字」は掲載されていない。そこで、『角川新字源』(小川環樹博士他編、角川書店、1996年1月20日改訂再版)を見ると、「譌」は独立した項目としては立てられず、「訛」(言部4画、7551番)の本字として示されていた。「訛」(カ)の意味は、「(1)うそ。偽言。(2)あやしいことば。妖言。(3)なまり。方言。(4)なまる。ことばや文字を誤る。(5)いつわる。(6)あやまる(誤)。あやまり。(7)のび(野火)(8)うごく(動)。かわる。(9)《俗》かたる(騙る)。人のものをだましとる。」といった説明が与えられている。この後、「訛音(カオン)」「訛言(カゲン)」などの熟語を5語ほど掲げるは、「訛字」は見えない。

そこで、諸橋大漢和で「譌」を検索してみると、熟語の説明中に「譌字」があり、「うそ字。誤字。訛字。」と説明が与えられている。

要するに、「譌字」とは「誤字」のことである。現代日本語では「譌字」というような難しい言い方はしなくなっているが、その意味は「誤字」と同義であるから、以下、「譌字」は「誤字」のこととして読んでもらいたい。

3 譌字の符号化文字集合への採用の是非

譌字とは誤字のことであるから、これを、JIS漢字のような符号化文字集合へ入れるのは適切ではない。誤字であるから、日本語の文章の中で使うことが出来ない。使い道がないのである。あるとすれば、誤字の例として掲げるか、諸橋大漢和にはこのような譌字が掲げられていると例示するぐらいであろう。

そうした非常に限定された特殊な目的のために JIS 漢字に採用するというのは賛成出来ない。非常に限定された特殊な目的でも、例えば、説文解字などで使われ、由緒正しい漢字であれば、それは別の理由(学術研究上、必要度が高いなど)で検討の対象となるであろう。

一般に字書は規範的性格が強いと言われる。つまり、正しいことば、正しい漢字の字体を示すことが字書の目的である。譌字や誤字を掲げるのは、そうした漢字を使うべきではないという意味で掲げてあるのである。譌字を使うことを推奨しようとして掲げているのでない。このことは、誰でも理解できよう。

諸橋大漢和を全部コンピュータに入れることによって、文化の継承を主張される方がいるようだが、諸橋大漢和で譌字を掲げるのは、そうした漢字を誤って使わないようにするのが本来の趣旨である。そうした諸橋大漢和編纂の本来の趣旨を理解せずに、諸橋大漢和を全部入れれば、即、文化の継承につながるのだ、というような短絡的な発想は、根本的に誤った認識である。

もちろん、諸橋大漢和にある漢字をすべてコンピュータで表示・印刷出来るようにすることは必要であろう。諸橋大漢和やその土台となった康熙字典を利用したり研究するにはそうした作業が必要である。しかし、そのために、JIS 漢字に諸橋大漢和を全部入れる必要は全然ないのである。諸橋大漢和のすべての漢字を画像として処理するソフトは既に公開されていて、誰でも利用できる。

京都大学の e 漢字のプロジェクト⁽²⁾ は学術目的であれば、無償で利用出来る。

今昔文字鏡⁽³⁾ は有料だが、低価格であり、検索のデータベースもたいへん充実したものである。これらは、漢字不足に悩むコンピュータのユーザに推奨出来る物である。

東京大学の GT 明朝のプロジェクトもあるが、全体は未公開である。公開部分について「東大明朝と JIS 漢字の包摂規準」⁽⁴⁾ を書いたので参照されたい。

4 JIS 漢字は本当に文化の切り捨てなのか

現在、我々が通常用いている JIS 漢字は、現代日本語を書き表すために開発されたものである。遙か 20 年前、コンピュータなど使えない時代に、これだけの文字集合を収集整理されたことには深い敬意を払わずにいられない。むしろ、足りない文字はあるであろう。しかしそれは、JIS 漢字があったればこそ足りないことに気づくのである。この点を忘れてはならない。

現在、新 JIS 漢字(第 3・4 水準)の開発が進められている。そこでは、20 年前に制定された JIS 漢字の目的を踏まえ、現代日本語を書き表すのに必要かつ十分な文字を収集し、それを符号化することを目指している。

すなわち、新 JIS 漢字(第 3・4 水準)の開発は、これからの情報化時代に向けて必要不可欠な文字を抽出する作業なのである。

当然、そこでは切り捨てられるものが出てくる。しかし、言うまでもなく、「文化」を生み出すには、過去を切り捨てることが必然的に要求されるのである。

すでにコンピュータは多くのものを切り捨ててきた。もうすぐ年賀状を書く時期になるが、手書きで宛名を書くことも少なくなってきた。(私は、せめて宛名ぐらいはと思い、手書きしている。数が多くないから出来るのだが。)また、電子メールは、手書

きによる手紙・葉書を捨てつつある。そうした例は挙げればキリがないであろう。このあたりについては、藤本裕之氏の発言⁽⁵⁾が参考になった。

切り捨てられるのは、まっぴらゴメンだということであれば、それは存在を主張するしかない。いや、存在だけではだめで、存在することの価値を主張することが求められているのである。存在の価値が認められた文字を優先する、あるいは存在の価値が認められるべき文字を絶対に落とさない、これが新 JIS 漢字(第3・4水準)の基本的な思想と言えるだろう。

もちろん、存在の価値がすぐに認められない文字(漢字)だからといって完全に切り捨てることは正しくない。そういう意味では、一文字でも使う人がいれば、コード化すべきだという主張には傾聴すべき点があるだろう。この問題を文字コードの問題として扱うためには、一文字でも使う人がいるということをも具体的な事実をもって示し、何を要求しているかを明確にする必要がある。その作業を怠けるのは、結局、甘えでしかない。

5 諸橋大漢和にはどれくらいの譌字があるか

諸橋大漢和を全部 JIS に入れなさい、と主張することは、譌字(誤字)を JIS に入れなさいと主張するのに等しい。

では、譌字(誤字)はどれくらい諸橋大漢和にあるのか。

諸橋大漢和の第八巻(白部から糸部)の5429字について調査した結果、85字の譌字を見出すことが出来た。これは、調査範囲の1.56%に相当する。諸橋大漢和約50000字の1.56%といえば、781字である。音義未詳字は、第八巻前半の調査では、7%であった。 $50000 \times (0.0156 + 0.070) = 4280$ であるから、諸橋大漢和の4000字以上が譌字(誤字)と音義未詳字であり、それらは諸橋大漢和を印刷・表示するくらいしか使い道がないということになる。

「諸橋大漢和を全部 JIS に入れなさい」と主張することは(そうした主張があるとなればの話であるが)4000字以上の譌字(誤字)・音義未詳字を JIS に入れなさいと主張していることに等しいのである。このことを十分に認識した上で、「諸橋大漢和を全部 JIS に入れなさい、入れるべきである」と主張してほしいものである。

諸橋大漢和第八巻の譌字の用例

諸橋番号, 部首, 画数, 諸橋の記述(典拠は書名のみ)

臭, 22696, 白, 4, カウ 臭(3-5889)の譌字。〔正字通〕

鼻, 22775, 白, 11, ベン 鼻(9-30128)の譌字。〔正字通〕

鯢, 22800, 白, 14, クワウ 鯢(8-22770)の譌字。〔正字通〕

鞞, 22885, 皮, 9, タツ 鞞(8-22919)の譌字。〔康熙字典〕

鞞, 22937, 皮, 17, ジャウ 鞞(5-13441)の譌字。〔正字通〕

罇,22942,皿,2,ケイ 罇(10-33966)の譌字。〔正字通〕
盪,23046,皿,11,チウ 盪(8-23071)の譌字。〔正字通〕
盪,23067,皿,12,バウ マウ 盪(3-5674)の譌字。〔字彙補〕
盪,23082,皿,14,レイ 盪(8-23087)の譌字。〔正字通〕
盪,23095,皿,17,チヨ 盪(8-23096)の譌字。〔中華大字典〕
眈,23119,目,3,アツ 眈(8-23197)の譌字。〔正字通〕
眈,23130,目,3,ガイ 眈(4-7421)の譌字。〔正字通〕
眈,23134,目,3,イ 眈(10-36667)の譌字。〔康熙字典〕
眈,23148,目,4,ベキ 眈(10-34815)の譌字。〔正字通〕
眈,23149,目,4,バク 眈(8-23320)の譌字。〔正字通〕
眈,23150,目,4,コ 眈(5-13795)の譌字。〔正字通〕
眈,23247,目,5,イ 眈(8-23261)の譌字。〔正字通〕
眈,23293,目,6,ジ 眈(9-29444)の譌字。〔正字通〕
眈,23294,目,6,ソウ 眈(8-23528)の譌字。〔正字通〕
眈,23300,目,6,エン 眈(8-23562)の譌字。〔正字通〕
眈,23309,目,6,クワツ 眈(8-23220)の譌字。〔正字通〕
眈,23357,目,7,クワン 眈(8-23352)の譌字。〔正字通〕
眈,23365,目,7,カウ 眈(9-29800)の譌字。〔正字通〕
眈,23401,目,7,ゼン ネン 眈(9-29547)の譌字。〔字彙補〕
眈,23507,目,9,テキ 眈(8-23656)の譌字。〔正字通〕
眈,23509,目,9,シン 眈(9-23396)の譌字。〔康熙字典〕
眈,23521,目,9,ク 眈(8-23479)の譌字。〔康熙字典〕
眈,23732,目,13,シヨク 眈(13-23841)の譌字。〔正字通〕
眈,23767,目,14,ブ 眈(8-23710)の譌字。〔正字通〕
眈,23977,矢,7,エイ 眈(6-16634)の譌字。〔康熙字典〕
眈,23990,矢,8,シ 眈(7-19385)の譌字。〔正字通〕
眈,24458,石,11,ラク 眈(7-20126)の譌字。〔字彙補〕

廼,24718,示,7,コン 廼(5-12131)の譌字。〔正字通〕

禱,24729,示,8,ヒ 禱(10-34338)の譌字。〔康熙字典〕

𪔐,24862,示,15,クワウ 𪔐(7-20774)の譌字。〔龍龕手鑑〕

梯,24974,禾,4,テイ 梯(6-14881)の譌字。〔字彙補〕

陀,25015,禾,5,ダ 陀(11-41600)の譌字。〔字彙補〕

秬,25151,禾,9,コク 秬(8-25064)の譌字。〔正字通〕

粹,25245,禾,11,リツ 粹(8-27095)の譌字。〔正字通〕

𪔑,25480,穴,5,ハツ 𪔑(9-29357)の譌字。〔淮南子・集解〕

窳,25500,穴,6,カウ 窳(8-25470)の譌字。〔韓非子・集解〕

窳,25534,穴,7,シ 窳(8-25501)の譌字。〔字彙補〕

窳,25537,穴,7,フン 窳(6-17178)の譌字。〔呂覽・校正〕

窳,25574,穴,8,イ 窳(3-7139)の譌字。〔康熙字典〕

𪔒,25596,穴,10,シユン 𪔒(7-21558)の譌字。〔正字通〕

窳,25605,穴,10,キウ 窳(3-7349)の譌字。〔中華大字典〕

竊,25703',穴,16,セツ 竊(8-25713)の譌字。〔字彙補〕

端,25782,立,7,タン 端(8-25806)の譌字。〔五音篇海〕

筧,25896,竹,4,カウ 筧(8-25883)の譌字。〔字彙補〕

筑,25918,竹,5,チク 筑(8-26002)の譌字。〔篇海〕

筧,26159,竹,8,タウ 筧(8-26343)の譌字。〔正字通〕

匱,26166,竹,8,サン 匱(2-2659)の譌字。〔康熙字典〕

箴,26217,竹,9,カ 箴(9-31449)の譌字。〔正字通〕

築,26261,竹,9,チク 築(8-26289)の譌字。〔正字通〕

筧,26279,竹,9,サイ 筧(8-26278)の譌字。〔康熙字典〕

箴,26295,竹,9,𪔓 箴(8-26564)の譌字。〔康熙字典〕

箴,26384,竹,10,ダイ 箴(8-26667)の譌字。〔康熙字典〕

籐,26641,竹,13,セウ 籐(8-26328)の譌字。〔字彙補〕

籐,26642,竹,13,ハク 籐(8-26495)の譌字。〔康熙字典〕

簾,26808,竹,19,ヒ 簾 (9-32595) の譌字。〔康熙字典〕

机,26839,米,2,シン 机 (8-26842) の譌字。〔字彙補〕

純,27252,糸,3,ジユン 純 (8-27277) の譌字。〔篇海〕

紃,27269,糸,4,カウ 紃 (8-27292) の譌字。〔正字通〕

紃,27283,糸,4,ジン 紃 (8-27245) の譌字。〔正字通〕

紃,27316,糸,4,ハ 紃 (8-27441) の譌字。〔字彙補〕

紃,27387,糸,5,カウ 紃 (8-27292) の譌字。〔康熙字典〕

紃,27388,糸,5,シヨ 紃 (8-27276) の譌字。〔字彙補〕

緬,27455,糸,6,メン 緬 (8-27674) の譌字。〔康熙字典〕

縹,27456,糸,6,シウ 縹 (8-27747) の譌字。〔康熙字典〕

綱,27532,糸,7,ケイ 綱 (8-27375) の譌字。〔正字通〕

繇,27720,糸,9,ケイ 繇 (8-27792) の譌字。〔康熙字典〕

縹,27721,糸,9,ヘキ 縹 (8-27961) の譌字。〔康熙字典〕

縹,27798,糸,10,ム 縹 (8-27648) の譌字。〔字彙補〕

縹,27800,糸,10,サク 縹 (8-27306) の譌字。〔康熙字典〕

縹,27802,糸,10,サウ 縹 (8-27854) の譌字。〔康熙字典〕

縹,27803,糸,10,エウ 縹 (8-27856) の譌字。〔字彙補〕

縹,27850,糸,11,ハン 縹 (8-27849) の譌字。〔正字通〕

縹,27894,糸,12,イン 縹 (8-28000) の譌字。〔正字通〕

縹,27898,糸,12,チヨウ 縹 (8-27650) の譌字。〔正字通〕

縹,27934,糸,12,ソ 縹 (8-27731) の譌字。〔字彙補〕

縹,27946,糸,12,エウ 縹 (10-35851) の譌字。〔正字通〕

縹,28029,糸,15,クワン 縹 (8-27486) の譌字。〔正字通〕

縹,28065,糸,16,ハウ 縹 (8-27852) の譌字。〔字彙補〕

縹,28073,糸,17,ベツ 縹 (8-28038) の譌字。〔篇海〕

縹,28098,糸,20,シ 縹 (8-28094) の譌字。〔正字通〕

注

- (1) <http://member.nifty.ne.jp/shikeda/moro.html>
- (2) <http://yas.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~ekanji/>
- (3) http://www.mojikyo.gr.jp/index_j.htm
- (4) <http://member.nifty.ne.jp/shikeda/gt.html>
- (5) http://www.zdnet.co.jp/macweek/9811/20/c_bomb.html